

拠出金名: GEO拠出金

国際機関等名	地球観測に関する政府間会合 (英文名称・略称) Group on Earth Observations(GEO)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	文部科学省研究開発局環境エネルギー課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千スイスフラン)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	35,555	404		1スイスフラン = 88円	0
平成21年度	37,172	404		1スイスフラン = 92円	0
平成20年度	40,000	404		1スイスフラン = 99円	0
当該拠出金の目的・用途等	事務局運営経費、会議の開催				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年のもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)	
	国 名	金額 (千スイスフラン)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 5,906,913スイスフラン 当該年度の支出 3,209,935スイスフラン 次年度への繰越 2,696,978スイスフラン	
1位	アメリカ	1,106	30.0	会計検査機関名	
2位	EC	877	23.8	英国国立監査機関	
3位	日本	404	10.9		
4位	ノルウェー	298	8.0		
5位	南アフリカ	219	5.9		
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
平成17年2月の第3回地球観測サミットで承認された全球地球観測システム(GEOSS)の立ち上げ段階から、我が国は米、欧州と共に主導的な役割を果たし、GEO執行委員国として積極的にGEOSSの推進に参画しており、3年ごとに更新される実行計画に基づき、水、気象、生物多様性等の研究者等が、GEOSSの構築に貢献している他、データ構造委員会への共同議長派遣、評価・モニタリング委員会への委員派遣、GEO事務局に人材派遣等の運営面でも貢献。従って我が国の拠出金については応分の負担であり、2010年第7回本会合において、我が国の拠出金はGEOSS推進のために適切に運用されていることを確認。 GEOSSは、2005年から2015年までの10年計画で進めており、計画の後半期に入っていることから、進捗と成果を具体化・数値化するための指標の導入した評価、また、事務局運営に対し監査を強化するなど、改善を行い高品質なサービスを提供することに務めている。					
邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		16人 12.5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。